

米ファイバチャネル協議会（FCIA：Fibre Channel Industry Association）発表
「16Gbpsファイバチャネル（FC）標準化作業が完了」

（ANSI INCITS T11 Committeeは16GFCファブリックの標準規格を批准）

日本時間（2010年9月29日）

2010年9月28日 カリフォルニア州サンフランシスコ発

FCIAは、本日「ANSI T11技術委員会において、16GFC標準規格化作業が完了した」と発表しました。承認された16GFC標準規格によってファイバチャネル業界は、顧客が現在使用中の4GFCと8GFCインフラ投資を無駄にすることなく使用し続けることが出来、また費用の掛かるこれら4GFCや8GFCからの交換作業を避けるよう支援いたします。

この投票によって、ANSI INCITS T11 Technical委員会の開発による、FC-PI-5標準規格中の16GFC銅線と光インタフェースがサポートされました。そして、ファイバチャネルがストレージ相互接続に利用可能な最も高い性能を提供し続けるのを確実にします。

16GFCユーザは、現在の2倍の帯域である8GFCと比べ、価格対性能比、消費電力およびポート密度で2倍の節約を体験することが出来ます。16GFCは、8GFC技術の電力消費量を少なくとも25%下げるものと見積もられています。16GFCは、オートネゴシエーション機能によって、透過的にユーザの介在なしに8GFCと4GFCと通信を行うことが出来ます。このことによってユーザは自分の予定で16GFC製品を組み込むことが出来、既存の4GFCまたは8GFC SANを取外したり、交換したりする作業は生じません。16GFCは、8GFCからの自然な価値の移行を提供します。すでに購入済みの8GFCは、明日も間違いなく使い続けることが出来ます。加えて、同じ仕事を実行するために必要とされるケーブル、ポート、およびデバイスの数の削減によって管理能力が改良され、その結果16GFCではSANで要求される帯域を満たすためのリンク数を減らします。

FCIA委員長であるSkip Jones氏は「投資保護は、ITメーカーと顧客双方における技術計画の主要な要素あり、これら双方をして現在および将来の技術についてより良い決定を促すことが出来る」と述べました。「ユーザの現在の投資を守りつつ、今日および将来の性能要求に応えることによって、16GFCとともにファイバチャネルの将来はゆるぎない。16GFCは、巨大で、急速に成長しているファイバチャネルインストールベースに下位互換性の利益を提供し、今日のSANアプリケーション要求に最も優れた費用対効果、最も高い性能を提供するでしょう」。

16GFCユーザの利益：

- ・ 10GイーサネットSANsよりも約40%速い
- ・ 8GFCよりも2倍速い
- ・ 改善された価格対性能比
- ・ 低消費電力
- ・ 下位互換性
- ・ 柔軟な構成の可能性
- ・ 60%から2倍に改善したSAN IO密度
- ・ 60%から2倍に増加した1ポート当りの仮想マシン IOチャンネルの数
- ・ 他の用途のためのPCIeスロットの節約

今日、FCIAメンバー会社は、16GFC技術をベースに製品化中であり、2011年の市場で利用可能になるでしょう。16GFCの標準化活動の追加情報は、ANSI T11ウェブサイトを利用可能です。www.t11.org

FCIAウェブはこちら：<http://www.fibrechannel.org>

以上